



世界に希望を生み出そう

# Rotary

## 寒川ロータリークラブ



子どもたちと寒川の未来をつなごう ～さらに先の50年へ～

事務所: 〒253-0106 神奈川県高座郡寒川町宮山7番地 サンワビル2F

TEL 0467(73)0046 FAX 0467(74)0027

例会場: 寒川神社参集殿 例会日: 月曜日 18:30

会長 村松 一 幹事 山本和好

会報委員(クラブ管理運営委員会)

若菜勝美 鈴木正秋 石丸博久 大澤 剛 茂内 勝 中村 靖 二見 茂 眞原 浩 森嶋洋子 山本和好

## 第2264回例会 2023年10月23日(月) 晴れ

司会 山本幹事  
 斉唱 奉仕の理想  
 ソングリーダー 眞原クラブ管理運営委員

### 会長の時間 村松会長

お晩でございます。先週の14日から16日にかけて寒河江に行っていました。10時頃出発し12時ぐらいの新幹線に乗る予定でしたが、珍しく東海道線が横浜の先あたりで20分ほど緊急停車。15分前には東京駅に着けたので予定の便に乗ることができました。お弁当を買う時には大急ぎ。15時半山形駅着。寒河江RCの会長エレクト且つ旅行代理店の誉田さんがバスでお出迎え。16時にはホテル着。会長他の皆さまのお出迎えを受けました。ゆっくりする予定がすぐさま誉田さんの串揚げのお店「だるま」へ。手羽先がうまい。これから合同例会があるというのに飲まされる。18時合同例会開会。多少の酔いはあるものの、ちゃんと会長挨拶。姉妹締結30周年の記念品交換で当クラブは釜揚げシラスを贈呈。寒河江RCからはリンゴとラフランスを後日送っていただけるとのことです。その後宴会。21時、メンバーのメリーさんのお店へ。23時半頃ホテルへ。翌日はゴルフ組と観光組に分かれて行動。私は7時過ぎにホテルを出発し、8時半からゴルフ。一日中雨。ゴルフ中も飲みっぱなしでした。15時に終了。それでも準優勝は嬉しいものです。16時ホテルへ。すぐに誉田さん・沖津さんと焼き鳥屋へ。ネギマのネギは玉ねぎで美味しい。煮豚足は「あし」と呼ぶ。18時、チェリーランドにて懇親会。あちらで活動するミュージシャン山口岩男さん登場。「さすけいね(何とかなるさ)」で盛り上がる。21時、ホテルへ戻り温泉でゆっくりしたところへ22時半呼び出され、そば。そこにはいつも島村君と中村さんが。次の日、9時半、会長らのお見送りの下出発。チェリーランドでお土産買

い物。12時、米沢牛すき焼き。またワイン。14時、新幹線で東京へ。さすがに新幹線では爆睡でした。19時半ごろ無事帰宅。担当の国際奉仕委員長島村君色々ありがとう。色々と申し上げましたが何を言いたいのかというと、とにかくずっと食って飲んでおりましたがとても楽しかったのです。そして貴重な交流ができました。来年は寒河江さんが来ますので、おもてなしを。そして再来年には訪問してまた皆で楽しみましょう。

### 入会式



加藤幹広会員(横浜銀行寒川支店新支店長)  
 スポンサー: 磯川会員

### 幹事報告 山本和好幹事

### 例会変更

茅ヶ崎中央、茅ヶ崎、各RC

## 出席報告

会員数	出席計算会員数	出席会員数	暫定出席率	確定出席率
37名	35名	30名	85.71%	第2261回 88.89%
本日欠席者	中野会員、中村光良会員、森嶋会員、若菜会員、椎野会員			

## 週報受理

台北士林RC

## その他受理

### ●ガバナー事務所

～米山研修日帰り旅行開催案内{11/11(土)9:00集合  
行先:箱根・三島}

～地区大会開催案内{11/25(土)於:鎌倉パークホテル、  
26(日)於:相模女子大学グリーンホール マイクロバ  
ス利用・昼食付}

～インターアクト年次大会登録依頼{11/23(木・祝)9:30  
～ 於:北鎌倉女子学園中学校高等学校}

～2026-27年度ガバナーノミニー候補者提案に関する  
告知

～ロータリー財団年次基金寄付推進アンケート

### ●寒川神社

～菊花展・写真展協賛に対するお礼状

### ●寒川神社少年館・ボーイスカウト寒川第2団

～助成金贈呈に対するお礼状

## 回覧

○寒川神社社報「相模」第534号

○ハイライトよねやまvol.283

## 委員会報告

### 親睦活動委員会 下里委員長

例会終了後、委員会を行います。委員の方は出席をよろ  
しくお願いいたします。

### 会員増強委員会 小澤委員長

11/6、オブザーバーをご招待して移動例会を行います。  
場所は1階の「あおば」、点鐘が少し早まりまして18時と  
なります。まだ2週間ありますので、招待したいオブザ  
ーバーがいらっしゃいましたら是非お連れください。

### 長期ビジョン検討委員会 井上晋一委員長

当委員会の担当例会として前年度はマmanaハウスの菊  
池さんを卓話にお呼びしました。今年度8月にはスナッ  
グゴルフの石塚さんにお話しいただき、来年4月にはサ  
ッカークラブ「フットワーク」の大森さんに来ていただき  
予定にしておりますが、先日この方々と食事をする機会  
があり、寒川町をもっと盛り上げるイベントをやりたい  
!という話で盛り上がりました。早速11/3に川とのふれ  
あい公園で「2023さむかわ天才万博」を開催することに  
なり、今日は皆さんに協賛のお願いをアナウンスさせて  
いただきます。興味のある方は是非お声がけください。  
次年度地区補助金の事業としても参考にできることが  
あると思いますので、お時間のある方はぜひ見に行ら  
せてください。

### 小澤会長エレクト

50周年の時にクラブのテーマを「子どもたちと寒川の未  
来をつなごう」としました。これにより寒川RCの長期ビ  
ジョンは青少年に関する事業に取り組んでいくという  
方向に進んでいくことになるかと思えます。今回のイベ  
ントを通して、青少年に対する事業としてどんなことが

できるのかを考える参考にさせていただきたいと思いま  
す。

## 同好会報告

なし

## 2264回スマイルボックス

### 中村靖クラブ管理運営委員

合計36,000円

### ◎村松会長・山本幹事

地区出向者の皆さま、本日の報告よろしくお願いいたし  
ます。

### ◎山本幹事

前回、同好会コンペで優勝させていただきました。メン  
バーに恵まれ初優勝です。また頑張ります。

### ◎井上晋一会員

本日は、前年度卓話をお願いしたマmanaハウスの菊池さ  
んと今年度卓話をお願いした石塚さんたちがイベント  
を企画され実行委員長をお願いされたので、PRと協賛  
をお願いします。

◎青木、秋本、石井、石腰、石塚、石丸、磯川、井上(稔)、  
内野、小澤、金子、菊地、茂内、島村、清水、下里、鈴木(  
郁)、高波、中村(靖)、藤、二見、眞原、三澤、三留、山本(  
哲)、各会員

## 地区出向者活動報告スピーチ

### 下里会員(前・地区ポリオ委員会委員、現・地区RA委員 会委員)

今年度は地区RA委員会に出向していますが、その前2  
年間は地区ポリオ委員会に出向しておりました。ポリオ  
委員会でポリオに関するとても素晴らしい原稿が出来  
上がっていますので、この場をお借りして発表させてい  
ただきます。

### 歴史を作るカウントダウン「ポリオは根絶できる みんな の力があれば」

まず、ポリオという病気について説明します。ポリオは  
ウイルスによって発症する感染症です。日本ではポリオ  
が流行した時に小さい子供の麻痺がよく見られたため「  
小児まひ」と呼ばれていますが、大人にも感染します。  
ウイルスは主に人の排泄物を介して口から入ります。不  
衛生な水などにより、飲食物や手などに付着して口から  
入ることが考えられます。口の中に入ったウイルスは喉  
に定着したり、あるいは飲み込まれて腸に定着し、増殖  
します。ウイルスはさらに付近のリンパへと侵入し、血  
液の流れに乗って中枢神経にたどり着き、マヒを引き起  
こすことがあります。典型的な麻痺型ポリオは1日～2  
日、インフルエンザのような症状が見られたあと、解熱  
直後に急に手足に麻痺が現れます。手足だけに留まら  
ず全身に麻痺が残る場合もあります。自分自身で呼吸  
ができなくなった患者は「鉄の肺」と言われているタン  
クに入らなければなりません。大きな鉄製のタンクに体  
ごと入り、タンク内の気圧を低くして肺を膨らませ、圧を  
戻すことで呼吸を手伝う装置です。日本におけるポリオ

は1940年代頃から全国各地で流行が見られました。1960年には北海道を中心に5000名以上の患者が発生する大流行となりました。そのため、翌年に生ワクチンを緊急輸入し、一斉に投与したことによって流行は終息しました。今でも生後3ヶ月から12ヶ月の間に3回のポリオワクチン接種(4種混合、ジフテリア、百日咳、破傷風)が義務付けられ、免疫維持がされています。先程大人に感染しますと申し上げましたが、例えば第32代アメリカ大統領のフランクリン・ルーズベルトはポリオの後遺症で車椅子に乗っていましたが、ポリオに罹ったのは39歳の時でした。残念なことにポリオに有効な治療法はありません。しかし、ポリオはワクチンの接種により予防ができます。ポリオは根絶可能な疾病です。なぜそう言い切れるのか5つの理由を述べます。**1.ポリオウイルスの感染期間は非持続的** ポリオに感染しても、感染力のある期間は限られています。通常1～2週間程度です。**2.感染経路は感染者とその排泄物のみ** 通常、ヒトの排泄物だけが感染源となります。このように感染経路の特性を知ることによってポリオ克服に近づけます。**3.ウイルスが自然界で生存し続けるには限界がある** 野生型ポリオウイルスはヒトの体内以外では長く生存できません。**4.ヒトが唯一の宿主** これは何度も立証されましたが、動物を介して生存・感染するウイルスは確認されていません。**5.ワクチンの予防接種によって感染を防ぐことができます** 以上が根絶可能な理由です。ここで国際ロータリーとポリオの歴史についてお話しします。1985年にポリオプラスプログラムが発足するわけですが、ここに日本人ロータリアンが深く関わっていたことを覚えておいてください。東京麹町RCの会員であった山田つねさん、峰英二さんのお2人は早くからポリオの惨状に深い関心を寄せ、南インドでポリオに苦しむ子供たちにワクチン供与を2度にわたり実施され、その状況をつぶさに報告していました。この報告がポリオ撲滅運動提唱の原動力となり、東京の2地区を通じ働きかけ、国際ロータリーのポリオプラスプログラムへと発展したそうです。そして最近のポリオの現状です。1988年には125カ国35万以上の発症が確認されましたが、以来、25億人以上の子どもたちに予防接種を行ない、発症数は99.9%減少しました。0.1%がなぜ難しいのか?残りは0.1%。いや。0.01%にも満たないのです。しかし、このほんの少しの戦いがもっとも困難だと言われています。その理由は、遠隔地、不十分なインフラ、戦争やテロ地域である、そして文化的な障害が挙げられます。この間にも他の地域が再発症のリスクにさらされます。しかし、私たちはこの残り0.1%の戦いをやめるわけにはいきません。野生株ポリオウイルスの発症が起きている3カ国でまず感染を断ち切る。すでにポリオがなくなったポリオフィアの国にウイルスが流入しないようにするにはならない。流入リスクの高い国は最大60カ国と言われ、現在も続けて全国一斉予防接種などのキャンペーンを行っています。ポリオウイルスを完全に根絶しない限り、今後10年間で新たな発症は世界で20万件以上に上がると推測されています。

**活動するロータリー** 多くのロータリアンが資金面の支援だけでなく自ら予防接種活動にボランティアとして

参加しております。第2780地区は2014年、相澤ガバナ一年度よりインド・デリーでの全国予防接種日に参加しております。インドは宗教、思想からトイレは不浄とされ、野外排泄をする人がいまだに6億人以上いると言われています。そのため、最下層の裸足で生活する5歳以下の子供達は、ポリオに感染する危険が高いのです。次に寄付の話です。国際ロータリーではポリオ根絶の為に毎年5000万ドルの拠出を目標としています。1ドル135円として換算すると約67億円です。ビル&メリンダ・ゲイツ財団はロータリーの寄付に対して2倍額を上乗せすると約束しています。資金は「根絶活動の運営」「医療従事者の支援、確保」「研究所の設備」「啓発資料」などに使われています。第2780地区ではポリオプラス基金として一人40ドルを目標としております。今の全世界のロータリアンの総数は118万人ですので、5000万ドルを割るとするとちょうど40ドル相当になります。ビル・ゲイツはこのように言っています。「ロータリーから刺激を受け、私もポリオ撲滅に深く関わろうと決意しました。ロータリーがなければ、今日の世界はなかったでしょうし、今後世界が向かうべき方向も失われていたでしょう」ポリオのない世界の実現へ向けて、根絶に賭ける理由を述べます。根絶をあきらめれば、今後数千万人の子供がポリオで身体麻痺になる。根絶達成は目の前に迫っています。根絶を達成すれば、今後20年間で500億ドル(7兆5千億円)の経済効果が得られます。日本だけでもワクチンがポリオワクチンが入った4種混合から3種混合に変わるだけで1年間で150億円相当の費用が節減されます。ポリオ根絶は歴史的快挙となり、天然痘に続いて2例目となります。毎年10月24日は世界ポリオです。これはポリオワクチンを開発したアメリカの医学者ジョナス・ソークの誕生日を記念して国際ロータリーが設立しました。世界各地でポリオに関するイベント等が開催され、支援を募ったり啓蒙活動が行なわれています。第2780地区では一昨年、ポリオの認知度向上と根絶活動への支援を募るため、神奈川県内でバスジャックプロジェクトを展開。ラッピングバス12台と県内のバス・電車内でポスターなどを貼り啓発活動を実施しました。最後に、一昨年10月21日から22日、スイス・ジュネーブの世界保健機関(WHO)本部で開かれたRIとWHOの共催イベント「World Polio Day 2022 and Beyond」でテドロスWHO事務局長は「進むべき道は明らか。ポリオ根絶は手の届く所にある。ロータリーのご支援があれば、子供たちは歴史の教科書だけでポリオを知ることになるでしょう。その様な未来が一日も早く来ることを願っています。」と述べたそうです。国際ロータリーの悲願でありますポリオ根絶が一日でも早く達成されますことを心より願い、卓話を終わらせていただきます。ありがとうございました。

最後に、今年度出向のローターアクト委員会について。国際ロータリー第2780地区ローターアクト第35回地区大会が12月10日に横須賀で行われます。今のローターアクトの現状を見ていただきたいと思いますので、お時間がある方、ぜひ参加していただきたいと思います。

**三澤会員(地区研修委員会委員)**

今日はこのような時間を与えていただき大変ありがとう

ございます。私は地区研修委員会で何をしていますのか？まず1つ目はPETS(会長エレクト研修セミナー)の計画です。今まで会長さんをやられた方は、会長になる前にPETSというセミナーに参加し、次年度の会長として何をやるべきかということをお勉強していただいたと思います。そのセミナーを計画する。2つ目は地区研修・協議会。横須賀の保健福祉大学や日大六会、藤沢市民会館などに行ったことがあると思います。地区研修・協議会というのは、次年度、地区の各委員会が何をやるべきかを次年度の委員長さんが学ぶ場です。その地区委員会の設計図を作る。その前にまず、地区研修・協議会の講師になる方たちに対してチームセミナーというのを行い、各クラブから来られる次年度の委員長さんたちがどう学べるか？という計画をするのが地区研修委員会です。3つ目は地区大会。そこでも指導者セミナーというのがあり、そこに会長幹事(以前はクラブ研修リーダーも出席)に勉強していただく内容を企画しているのが地区研修委員会です。ただし、今皆さまのところにお配りしたRIからの資料にありますように、ロータリーはこれから「トレーニングからラーニングへ」変わろうとしています。今までは皆さんと共にトレーニング:研修をセミナーという形でやってきましたが、これからは皆さんが積極的にMy ROTARYにアクセスし自ら学ぶ:ラーニングという形になります。まさに「トレーニングからラーニングへ」です。クラブの会員の皆様一人ひとりがご自身で学び、ロータリークラブとはどういうものかを自分の頭の中に入れていただきたい。そういう時代が変わるということです。先日合同例会で伺った寒河江RCで、鈴木一作パストガバナーが「Guy Gundakerから学ぶロータリー」という冊子を寒川の皆様に贈ってくださいました。この中にはロータリー会員はどうすべきか。会長はどうすべきか。いろいろ書いてありますので入会したばかりの方は特に、これをしっかり読んでみてください。わからない言葉などがあたら私に聞いてください。または、My ROTARYにアクセスしてご自分で読んでみてください。これを読んでいただきますと、ロータリーというのはどう動くべきものなのか、というのが分かります。ロータリーはその用語が難しい。その理念というものが難しい。そして、ロータリアン一人ひとりそれぞれの方の考え方や意見も色々です。もちろん、違うところがあってもいいんですが、その違いを理解するのが難しい。これからは自ら学ぶ「ラーニング」に変わっていきます。そして2780地区:私たちの所属するこの地区についても、村松さんがPETS時に小沢さんのお話を報告されていましたように、この地区は大きくなり過ぎた。地区の委員が450人ぐらいになっているがそれを減らさなくてはいけない、とおっしゃっていました。それを受けて次年度佐々木ガバナーエレクトが組織の縮小化を実施しつつあります。ですので、次年度の地区の委員会がどう変わるか分かりません。地区委員会の数、その中の委員の数をもっとも少なくしようということですが、新しく立ち上げたポリオプラス委員会や姉妹地区委員会などはやめてしまうわけにはいかないので、1つの委員会の委員の数が多分半分になるという、そういう形で進めていってほしいと思います。例えば今まで地区から委

員さんが卓話に来ていました。島村さんも地区職業奉仕委員会で希望のあったクラブに卓話に行かれましたよね。それを変えていこうとしています。まず一度クラブからクラブの職業奉仕委員長さんを集めて、地区の委員会がその皆さんにラーニングする導きをします。そして、クラブの委員長さんがクラブに持ち帰っていただき、今度はクラブの会員さんたちを導くというように形が変わっていくようです。ただ、これをあと一年足らずで変えていくのは大変難しいと佐々木ガバナーエレクトはおっしゃっていますから、とりあえず今は「地区の委員会から何かを学ぶのではなく、自ら学んでいくという時代になる」ということをクラブの皆さんにはご承知おきいただきたいと思います。ただ、各クラブでは年次総会を12月初めにやりますよね。その時点で次年度の地区委員会の組織編成が決まっていなくて各クラブの次年度会長は困ってしまうと思います。地区研修委員会で私がガバナーエレクトに伝えてはいるのですが、次年度がどういう委員会構成になるかが12月中に決まるのかどうかさえ未知数のところでございます。ですから、この時期にこの話を入れさせていただいて大変ありがたいと思います。2780地区は大きく変わっていくという地区のあり方を皆様にお伝えいたしました。どうぞよろしくお願い申し上げます。